

2017/2/7

(日々雑感 4)



昨日、久しぶりにド田舎から電車を乗り継いで都会に出、身体を壊してやむなく休眠化していた会社の再立ち上げの打ち合わせをしてきました。

場所は、個室のある飲み屋さん。そこにパソコンを持ち込んでのお仕事です。前にも言いましたように、どこでもオフィスとして使えるのです。時間は三時間に及びました。結構白熱した議論です。

これは久しぶりでした。ド田舎の六畳一間で「逃亡生活」みたいな状態で、接するものがあったらネットの書き込みだけ。しかも、殆ど反応がない。いい加減、孤立、孤独感で一杯でした。

しかし、昨日、直にあって、目の前で人と話していると、その方の見識眼もあって、話される言葉の中に、事業や仕事や今自分が書いているもの等に対するキーワードやら気づきやらヒントや欠けているものの注意点やらが、それこそ次から次へとぽんぽん出てきて「あー、これだ、これ」と、久しぶりに興奮し、孤立、孤独感が限りなく癒やされました。

とても、嬉しかったのです。手応え満載で。

実は、その方は御年69歳になられる方です。リストラで飛ばされた先の元会社の上司です。会社を思っただけで、逆に冷や飯を食わされ、ならば、と自ら外に出て自分の道を歩き始めた方です。

もうひとり元上司の方がいらっしゃいますが、その方は遠方なので、都会での打ち合わせのお誘いは控えております。

これからその「ロートルじい」達が何かを再び始めようと動き出したわけです。

定年までは助走期間。その間に得た知恵や知識や経験を駆使して、退職後に使う。退職後こそがいよいよ本当の「本番」と言うわけです。

ものすごく楽しみです。

それにしても、ネットなんかじゃなくて、肉声で、しかも目の前でちゃんと言ってくれる人のいることが、どれだけありがたいことか！！心底痛感いたしました。